

指導と評価の一体化を目指した「主体的に学習に取り組む態度」に関する生活科学習評価の実証的研究

最終更新日：

【プロジェクト代表者】
学校教育ユニット
講師
菅沼 敬介

キーワード ・生活科 ・学習評価 ・主体的に学習に取り組む態度

プロジェクトの内容（目的・方法・結果と意義）

① はじめに

1 研究の目的

H31.1 児童生徒の学習評価の在り方について(重要視)

H31.3 児童生徒の学習評価及び評価目標の在り方について(重要視)

R1.6 学習評価の在り方ハンドブック(不安課題)

2 研究の方法

今日の学習評価の在り方 → 生活科の学習評価 → 学習評価への示唆

II これまでの研究の整理

1 学習評価の今日的課題

児童生徒の学習評価の在り方について(借書)

○学習改善を伴う学習評価とは

○資質・能力の学習評価とは

資質・能力のバランスのとれた学習評価を行うためには、(中略)ペーパーテストの結果にとどまらず、多面的・多角的な評価を行う必要がある。

そのほか

縦断型「カリキュラムを編みなおさないか」

山崎一「教科的知識の意義的価値」

これらに基き、生活科の学習評価の在り方について、改めて検討する。

2 今後の学習評価

生活科で育てると…「知識・技能」の学力・「態度・能力」の学力を育てる必要がある。

②

III 生活科のこれまでの学習評価とこれからの学習評価

1 生活科の本質と学習評価

高野浩二(1989)

生活科は、学校教育の初期段階においてその後の生活や学習の基礎づくりをするための生活や学習の基礎となる。生活科の学習は、生活や学習の基礎となる。生活科の学習は、生活や学習の基礎となる。生活科の学習は、生活や学習の基礎となる。

中野賢人(1994)

生活科の評価においては、単に『善し悪し』や『できる、できない』などの細微を判定して定量的な評価をしてはならない。むしろ、子供を理解して指導に生かすことが大切である。

藤弘一(1995)

類似の目的と内容を持つ学習活動であり、生活科の学習活動の在り方について検討すること。

3 生活科の目指す学習評価と評価標準

藤田敬敏(2008)

3観点とは、それぞれ独立した観点ではなく、相互に関連し合っている。例えば、関心・意欲が高ければ、気付きも多く得られることが多い。

輪野澄弘(2003)

子どもの側から見ればよいのかと『評価の観点』を設定しておくことが望まれる。(中略)一般に、評価の観点は1つの評価標準に対する複数立てられる。『評価の観点』を複数設けるのは、子どもの学習状況を多面的に見る為である。

藤田 繪(2003)

生活科の学習では、教師による評価だけでなく、子供自身による自己評価も欠かせない(中略)自己評価は、相互評価によって補われる。

③

④

⑤

IV 生活科学習に関するインタビュー調査

1 調査目的

平成29年告示の学習指導要領の全面実施に向けて、学習評価に対してどのような認識をもっているのかを明らかにし、これまでの学習評価の認識に迫り、学校現場の有効的な学習評価の在り方を明らかにする。

2 調査対象

名前	勤務校	備考
A	福岡県北九州市立あやめ丘小学校	学年主任
B	福岡県宗像市立吉武小学校	研究主任
C	福岡県宗像市立赤瀬西小学校	研究主任
D	福岡県糸島市立前原小学校	教科主任
E	佐賀県唐津市立鏡山小学校	教科主任
F	愛知県豊川市立御油小学校	研究主任
G	愛知県豊川市立国府小学校	学年主任
H	愛知県豊川市立赤坂小学校	学年主任
I	愛知県豊橋市立登壇小学校	教科主任
J	愛知県豊橋市立桜井小学校	教科主任

3 調査時期

令和元年8月～12月

4 調査方法

対面のインタビュー形式

5 調査内容

6 結果及び考察

1 生活科の学習評価について

この虫はどこにいて、どう捕まえたとか、友だちの虫や捕まえ方を見て、子どもたちが気付いた姿や発言から見取り評価をした。また、休み時間に見つけにいく等の姿も評価に入れた。

生活科の学習評価を言うと、具体的子どもの姿で回答している。さらに、無意識的でも答えるが「評価標準」をイメージしている。振り返りシートや絵日記の記述から、気付いた評価をするにしても、気付きに長けているのか、文章力に長けているのか、判断に迷う場面が多々あった。内向的な子どもと、外向的な子どもと違っても、外に出るところばかりではなく、対話によって評価したりもした。

悩んでいる場面も見られ、自己評価標準の妥当性や有用性等も、現時点でもかなり意識高く質問や評価を返している。

2 生活科の関心・意欲・態度の評価

常時活動をどれだけ一生懸命やっているのか、生き物とかのかわり方とか、あと、生き物に対して例えば、「バックさん元気になってくれてありがとう」とかかってきたとき、また、友だちの良さについて気付いたり、逆にアドバイスをあげたり、励ましたりかな。

関心・意欲・態度の学習評価についても、具体的子どもの姿で回答している。個別にわたる回答でも、意識的に見逃している。

関心・意欲・態度についてもあるけど、「思考」なのかもしれない。「気付き」なのかもしれない。特に、情景については、視点を区別して評価している。

どの観点に当たるかの線引きをできていないところから、生活科の本質に通じている。さらに、評価方法として、散らばる観点を明確にせずに評価しており、評価の本質も理解されている。

7

8

V おわりに

生活科の学習評価は、小学校教育現場においても資質・能力の育成を目指し、見取りを中心として展開されてきたため、新学習指導要領の学習評価の在り方におおよそ合致する。さらに、小学校現場において不安や悩みはあるものの、それらは具体性に裏打ちされているものであり、学校現場においても蓄積されているという成果が得られた。これは、現場実践レベルで、資質能力育成の学習評価が定着している表れであり、他教科の学習評価にも応用できる。

生活科での学習評価を応用し各教科の学習評価に生かすことが求められる。

【参考文献】
・菅沼正樹「江崎史明」コンピテンシーベースの授業づくり図書文化 2013
・中山芳一「学力テストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす」東京書籍 2018

成果の応用可能性（私たちの活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。）

生活科の学習評価は、小学校教育現場においても資質・能力の育成を目指し、見取りを中心として展開されてきたため、新学習指導要領の学習評価の在り方におおよそ合致する。さらに、小学校現場において不安や悩みはあるものの、それらは具体性に裏打ちされているものであり、学校現場においても蓄積されているという成果が得られた。これは、現場実践レベルで、資質能力育成の学習評価が定着している表れであり、他教科の学習評価にも応用できる。

このプロジェクトの形成に寄与した制度等

令和2年度科研費獲得推進支援プロジェクト

プロジェクト構成員（所属・職名・氏名・役割分担）

- 学校教育ユニット 教授 大和 敦
学習指導要領における学習評価
- 教育学部 非常勤講師 福重 秀人
教育現場における生活科学習評価
- 教育学部 非常勤講師 小田 順子
教育現場における生活科学習評価
- 教育学研究科 非常勤講師(元教授) 津川 裕
生活科学習評価の歴史的背景